

日本指圧専門学校同窓会



# 会報

## 第5号

発行年月日 昭和61年3月31日  
 発行者 山内貞四郎  
 編集者 小林 秋朝  
 日本指圧専門学校同窓会  
 東京都文京区小石川2-15-6  
 〒112 TEL 03-813-7354  
 題字 山内貞四郎



## ご挨拶

同窓会々長

### 山内貞四郎

昭和六十年七月の総会には、時期が大幅に遅れたにも拘らず、多数の会員のご出席をいただき、総会が盛大に、しかもなごやかに行われました事は、会員皆様のご協力の賜ものと役員一同心から感謝いたしております。その際お約束いたしました事業遂行につきまして、その経過などを概略申し上げます。

第一に申し述べたい事は、何といつても昨年十一月三日を期して行われた母校々長浪越先生の傘寿のお祝の会であります。この会には傘寿のお祝の外に、指圧道を世界にまで普及した開業六十年という輝かしい業績と、更に日本指圧専門学校創立四十五周年という（燦として）斯界に輝く二大業績を加えてのお祝いの会でありましたので、会員はじめ来賓各位のお祝に対する熱狂振りは大変なものでした。特に人力車による本人登場という劇的場面も加わって、会はホテルニューオータニ始まって以来の盛況であったと、来賓の中に叫ぶ方もお出のようでした。会員諸氏のご協力を感謝せずにはいられない場面が、次から次と現れる全くすばらしい大盛会でした。

第二に申し述べたい事は、同窓会運営資金として活用させていただく協賛金の問題です。皆様のご協力によりまして、第一年度に当る昨年度の協賛金総額は、別掲のよう約四十五万円に達しております。皆様から出していただいたこの尊とい協賛金は、何れ会議にかけて同窓会の運営資金として

使用させていただくこととなります。尚、協賛金につきましては別掲のように協賛金を出していただく要領のようなものがありますので、今後とも宜しくご賛助くださいますようお願いいたします。

第三にお知らせいたしたい事は、総会当日行われた浪越徹先生（同窓会相談役）の指圧療法とストレッチングと題する講演内容です。これは徹先生の著書『指圧十ストレッチング』を読んでいたただけ一番よろしいのですが、当日の講演は大変好評で著書も売れ行きがよく、品切れになったほどでしたので、作者の徹先生の講演内容が、如何にわれわれ指圧師にとって魅力深いものであったかを語る証明のように思われてなりません。ストレッチングの施術により、生体の軟部組織が、それぞれの任務を帯びながら、伸び伸びと運動し、この軟部組織に包まれた硬部組織まで、晴ればれと伸展しているように思われ、指圧療法に新しい息吹を導入したように思われるのでした。今般新しくできた教科書、臨床各論の中の「五十肩」治療の一節に、ストレッチテストという一項があつて、五十肩治療にストレッチング導入の必要性を示唆しているように思われます。

本年は丙寅の年です。小さい筆者の治療室に寅年生れの患者が、五人おります。何れも肝・腎、とくに肝が弱い患者が多いようです。偶然の一致だと思えますが、寅年生れの方に肝の弱い人が多いようです。また寅（虎）は「酔っぱらい」の意に使われています。トラになる、これは酒に泥酔する意に使われます。お互にトラになって肝を悪くしないように、特に今年には気をつけましょう。



昭和60年度通常総会  
 日本指圧専門学校同窓会

和氣譚々（あいあい）日本指圧専門学校同窓会総会  
 （昭和60年7月7日 茗溪会館にて）

# 浪越徳治郎先生の傘寿を祝う会

## 人力者で悠然(有髭)入場

### 意表ついた演出で満場万雷の拍手

日本指圧専門学校長・日本指圧協会長の勲四等・指圧道名人位浪越徳治郎先生は昭和六十年十一月三日八十歳傘寿の誕生日を迎えたが先生は併せて指圧開業六十年、日本指圧専門学校四十五周年の喜びを迎えることになり、これらを併せた祝賀の会が、日本指圧専門学校・同じく同窓会・日本指

圧協会の共催で「文化の日」この日正午から、東京・四谷のホテルニューオータニ鶴の間において盛大に挙行された。

この日を祝って一千名に近い名士・友人・同志が参集、大会場に並ぶ百余の円卓(一卓十名)を埋めて大盛況——定刻と共に司会の北出清五郎氏(NHKアナウンサー)



—)の名司会——。

「本日のご主人公・浪越先生のご入場です。ご注目下さい。」

会場の入口にライトの集中と共に浮び上がったのは、これはまた珍しい人力車に悠然と和傘を構えて八の字髭に和服姿の浪越先生、これを曳くパッチ姿に車夫スタイルはご存知コロムビア歌手の佳山明生君——この風変りなオープニングに、満場万雷の拍手と爆笑で開幕した。

やがて壇上に進んだ人力車から降りた浪越先生はここで「懺悔新生の髭剃り式」という新機軸を披露してまた爆笑の渦——。

日本指圧協会吉田専務理事の開会のことばがあつて続いて来賓祝辞に移り、

- 元皇族・賀陽邦寿、元総理府総務長官・植木光教、文部政務次官・鳩山邦夫、元国務大臣・山田久就、元総理府副長官・深谷隆司、通産政務次官・与謝野馨の諸

### 謝辞

## 長寿は両親恩愛の賜物

### 浪越徳治郎

本日は私の傘寿、指圧開業六十周年、指圧学校四十五周年の祝賀の会にかくも大勢の方がご出席下さいまして洵に有難く心より感謝申し上げます。

私の今日あるは、両親の厚き恩愛の賜ものであることを深く感銘しております。

私の父は香川県多度津において傘の製造業を営んでおりました。父が四十二才の年、中国から三千本の傘の注文を引受けました。その年は異常に雨の日が多く、傘の納入が期日に間に合はず倒産、このため一家を挙げて北海道へ移住しました。父は言葉

先生  
よりお祝いの言葉があり、次の記念品の贈呈では  
▽日本指圧専門学校同窓会▽日本指圧協会▽日本指圧専門学校教職員▽同・在校

生一同▽浪越指圧センター▽社会労働研究会▽指圧協会台湾支部黄昭期氏(劉子源画伯筆の虎の画軸)▽われ鍋会(浪越指圧内弟子一同)

続いてお孫さんや生徒代表その他多勢からの花束贈呈があつて賑かな祝福を受ける浪越先生はご満悦——。ここで国会から馳つけた山口労働大臣の祝辞があり、続いて花柳寿々方さんの祝舞「傘寿の踊」の披露、そして謝辞に立った浪越先生は「使命に燃えて指圧道のために百歳までも頑張ります」

と元氣いっぱい——次に佐渡ヶ嶽部屋尾車親方の音頭による乾杯で祝宴に移った。

はすくなくが行動をもつて私共を躰けてくれました。母は病身で、この治療から私の指圧は開眼されました。私はこの恩返しを常に心がけて参り、またこの美德を孫達に伝えることを使命と感じております。

お蔭さまで私は元氣です。このあとは八十八才の米寿、次は九十才の卒寿、そして九十九才の白寿の祝いも元氣で盛大に催す考えですので、皆さまにもご壮健でお付合いを賜りますようお願い申し上げます。感謝のこゝとばと致します。



大会場鶴の間を埋め尽した盛況



上池川青年団若衆連の大凧献上



お孫さん達が揃って花束贈呈



メインテーブルの山口労働大臣(右)鳩山文部政務次官(中)与謝野通産政務次官(左)



花柳寿々方さんの傘寿の舞

昭和六十一年度日本指圧専門学校  
同窓会通常総会・懇親会のご案内

左記により同窓会総会を開催いたしますので  
ご出席下さいませようご案内いたします。

昭和六十一年三月

日本指圧専門学校同窓会会長

山内貞四郎

記

一、とき 昭和六十一年四月二十七日(日)

一、ところ 開会 一〇〇〇〜三〇〇  
茗溪会館

(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅)

一、内容 下車徒歩一分 地図は下記)

総会(午前)

記念講演「胃の解剖学」

日本指圧専門学校 解剖学

講師 後藤保正先生

懇親会(午後)

一、会費 六、〇〇〇円(当日も可)

一、申込 同封の振込用紙にて会費前納して頂きますと受付事務混雑が防

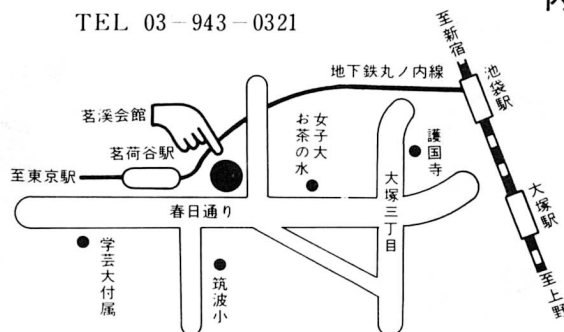
げますのでご協力の程切にお願い申し上げます。

同封の申込はがき(切手不要)に出欠を明らかにして四月二十三

日までにて必着でご投函下さい。申し込み人数にて準備を進めま

すので。

TEL 03-943-0321





# 昭和六十年 日本指圧専門学校同窓会通常総会

日本指圧専門学校同窓会の昭和六十年通常総会は、七月七日午前十時から文京区の茗溪会館において開催された。

参加者は文字通り、七夕さま並みに年に一度の同志の顔合せとあって、遠く全国か



午後の部懇親宴乾杯

ら馳せ参じた九十余名、久闊を恕する挨拶に握手に、開会前のだよめきてひととき賑った。

司会、松本定男先生により定刻開会、吉田克広副会長の開会の辞、全員起立による君が代斉唱に次いで山内貞四郎会長のあいさつ、神奈川歯科医大教授佐々昭三先生の来賓の祝辞があつて議事に入る。

議長団選出は司会者一任で田端哲郎先生(13期)佐藤玄祥先生(19期)が推されて挨拶、上野欣二副幹事長の昭和59年度会務報告、青木宏会計の会計報告、山口監査の報告を、また昭和60年度事業案(上野先生提案)同予算案(青木先生説明)のいずれも満場一致の拍手をもって承認可決し、石垣惟一副会長の閉会の辞をもって総会を終了、引続き日本指圧専門学校副校長浪越徹先生の「ストレッチング」と題する特別講演があつた。

ついで正午から全員集合の記念撮影があつて名誉会長浪越徳治郎先生の祝辞があり、懇親宴に移り、相談役浪越徹先生の音頭の乾杯をもって開宴、自慢演芸の競演に歓を尽し、校歌斉唱と三本メめのあと副会長小出忠志先生の閉会の辞で四時すぎ散会した。

## 祝 辞 指圧師は健康が第一!

皆さんお元気で何よりです。私も元気で頑張っております。

今日も、午前中、芝の弥生会館で、全国の教育研修会に招かれて講演をして来ました。

名誉会長 浪越 徳治郎

「指圧の心・母ごころ」

これは、指圧のスローガンだが、「教育の心も母心」です。母心とは、相手の身になつての思いやりの心です。

私の友人で平野吉之助という高校の先生



校長先生の演芸 小出副会長(佐)



記念講演中の徹先生



デュエット 佐々昭三先生と戸来宮子先生

がいます。彼は、生徒に会うと必らず手で、生徒のからだに触れるのです。「どうだ、風邪は治ったか」と、頭に手を触れる。肩に手をやって――「頑張れよ!」と励ます。

これを、彼は「触感教育」と称して、成績を挙げている。

また、嫉けることも大切である。戦後、日本のお母さん達は、この嫉けを忘れてしまった。現代の非行少年や、暴走族、常軌を失った行動は、嫉けを忘れたお母さん達の罪です。

教育に携わる者は、特に心がけてほしい。こんな話をして来ました。

指圧師にとつても、同じことです「母心」は勿論大切ですが、同時に、患者を説得する勇氣も大切で、かつて東京市長をした、後藤新平は、「患者医師に勝てば凶なり、医師、患者に勝てば吉なり」と、喝破したのであります。患者が医師に命令しては、間違ひであり、結果は凶である。医師が患者に命令することは大切なことで、結果は、吉と出るのである。

大正の時代に、京浜国道を作つて、後藤の大風呂敷となじられたが、今になってそ

の先見に敬服している。

指圧師は、先ず自らを健康にすることで、病人を指導する、指圧師が病気をしたり、早死をするのは、最も恥としなければならぬのです。

その意味で、よく自己指圧をしたり先輩の指圧を受けて、健康に留意することです。では、元気で頑張りましょう。



五禽の会の舞踊



日本指圧専門学校同窓会 決算書

収 入 の 部						
科目	内 訳	58年度予算	58年度決算	59年度予算	59年度決算	60年度予算
会費	新入会員会費	1,075,000	985,000	950,000	915,000	2,292,000
事業	總會懇親会費	385,000	495,300	600,000	666,000	960,000
雑収入	預金利息	60,000	91,064	50,000	39,482	100,000
	その他	10,000	46,000	10,000	31,000	50,000
	計	70,000	137,064	60,000	70,482	150,000
	前年度より繰越	2,580,829	2,580,829	1,626,675	1,626,675	2,474,812
	収入総計	4,110,829	4,198,193	3,236,675	3,278,157	5,876,812

支 出 の 部						
科目	内 訳	58年度予算	58年度決算	59年度予算	59年度決算	60年度予算
会議費	總會費	500,000	587,330	850,000	660,595	1,000,000
	役員会費	50,000	3,382	20,000	7,020	20,000
	計	550,000	590,712	870,000	667,615	1,020,000
事業費	会報発行費	1,900,000	1,743,136	1,000,000	45,600	1,939,430
	会員名簿費	50,000	0	10,000	720	50,000
	計	1,950,000	1,743,136	1,010,000	46,320	1,989,430
本部費	人件費	60,000	0	10,000	0	10,000
	通信費	20,000	1,620	10,000	12,530	100,000
	印刷費	10,000	0	10,000	0	50,000
	渉外費	200,000	210,000	200,000	75,000	200,000
	交通費	10,000	0	10,000	0	10,000
	慶弔費	50,000	26,050	50,000	630	10,000
	事務用品費	50,000	0	50,000	550	20,000
	雑費	10,000	0	10,000	700	10,000
	計	410,000	237,670	350,000	89,410	410,000
	予備費	200,000	0	200,000	0	200,000
	支出合計	3,110,000	2,571,518	2,430,000	803,345	3,619,430
	次年度繰越	1,000,829	1,626,675	806,675	2,474,812	2,257,382
	支出総計	4,110,829	4,198,193	3,236,675	3,278,157	5,876,812

決算付記

収入の部

○新会員費(終身会費として一人当  
五千円)

五八年度 二六期生 一九七名分  
五九年度 二六期生 五名後納者  
二七期生 一七八名分

○總會懇親会費

五八年度 三、五〇〇円×一〇八  
名。その他。  
五九年度 六千円×一一一名

支出の部

○会報発行費

五八年度 第三号の他に第二号分  
の支払いが五八年度に  
行なわれた。  
五九年度 第四号の支払いは次年  
度。

○渉外費

体育祭協賛金五万円、指塚供養生  
花代一万円は毎年同じ。  
五八年度 校長叙勲祝金十万円。  
井沢先生祝賀会祝金三  
万円。

五九年度 吉田先生都知事賞受賞  
祝金二万円。

校長・副校長出版記念  
会盛花代  
一五、〇〇〇円。

昭和三十九年三月三十一日現在  
貸付信託百万円。金銭信託五七六、  
二五九円 郵便貯金四二、三九八円。  
現金八五六、一五五円。

協賛金賛助者  
ご芳名

昭和六十年年度から実施された同窓  
会協賛金制度については六十年五月  
二十三日の郵便振込五口、二万一千  
円を皮切りに、今年二月末日現在で  
郵便振込二六五名・二十六万一千円  
現金入金二八万二千円、合計四十  
四万三千円の協賛を得ました。

協賛金の内には一括賛助の方や行  
事開催の都度協力下さる方々等あり  
ますが、左記の「協賛金入金一覽表」  
をもって入金報告に代えさせていた  
だきました。御諒承下さい。(一)  
内の数字は卒業期数。順不同、敬称  
略。

- 〔五万円〕 井沢正(学院)
- 〔二万円〕 藏本重春(6)、小山福松(18)
- 〔一万円〕 初又安那(10)、松本一雄(学院)、岡本草苑子(24)、田端哲郎(13)、佐々木重雄(13)
- 〔八千円〕 黒沢甲子古(24)、稲場義明(16)、村山好政(7)、井上征夫(20)
- 〔五千円〕 山田和子(17)、池田英光(10)、中道英治(24)、中道ゆき子(21)、山田滋(24)、石原博司(5)、千沢斌(11)、川上春治(1)、若林勇(22)、黒沢信男(24)、長谷川清次(7)、伊藤信一(21)、横尾益夫(23)、永山琶奈子(3)、山田十喜子(23)、上村昭郎(学院)、同ミ子(16)、清水京子(27)、辻殿(5)、小出忠志(10)、高野正之(10)、同文(7)、山内貞四郎

- (10)、石垣惟一(6)、片岡弘昌(21)、浪越徹(学院)、吉田克広(1)、浪越満都子(16)、山田明信(23)、上野欣二(17)、佐藤岩治郎(6)、藤井正弘(8)、鈴木三(8)、小林秋朝(17)、木下誠(18)、藤田一彦(20)、青木宏(19)、
- (三千円) 女良タミ子(17)、小畑実(18)、高野助二(21)、宮永喜美枝(13)、二沢茂(23)、荻原三四子(4)、堀口武志(17)、大木愛子(25)、新村忠志(19)、渡辺あき子(24)、高橋昌子(1)
- (二千円) 道下数一(25)、山口徳藏(15)、大沢登(18)、武田正雄(17)、三好英子(19)、山内澄子(15)、松本定男(25)、辰馬富美(1)、佐藤一雄(19)、胡桃愛子(24)、国田イト子(16)、池田正(18)、西尾はる(18)、青木豊(20)、多田敏彦(21)、横山京子(23)、相沢君江(1)、河上勇(11)、赤沢えい(8)、持木光子(1)、高橋和子(3)、戸来宮子(17)、山口忠治(18)、
- (千円) 石川英一(26)、黒岩広吉(21)、谷内孝之(27)、与沢義江(20)、宗像絹(12)、松本仁美(25)、高沢英明(26)、陣内恵美子(24)、高沢佐恵子(25)、後藤栄子(18)、白土衛(15)、清沢立夫(21)

### 同窓会協賛のお願い

協賛金は母校に対する恩返しと、母校の発展をバックアップし、同窓会の運営と事業の拡充のために、自発的に協力するという精神から発足

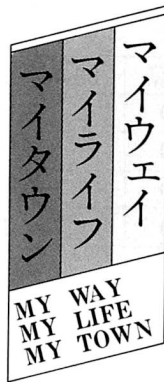
致しました。昨年この呼びかけに早速応えてご協力くださった皆様に、心からお礼申し上げます。

この協賛金は永続的に窓口が設けられております。初めてご協力くださる方も、また既にご協力いただいた方も、ご都合の良い時にたとえわずかでも繰り返しご協賛くださいますよう、切にお願い申し上げます。

同窓会々長 山内貞四郎  
会計委員 青木 宏

### 同窓会協賛金納入要領

払込先 郵便振替



### 30指圧法制定を迎えて



第十一期生 茂田井良平

皆様、元気で指圧道に励んでおられる事と思います。指圧法が国会で認められたのが、昭和三十年八月でございます。

此の指圧法案を上程する迄には浪越徳治郎先生を始め諸先生方が、日夜寝食を忘れ長い年月をかけて毎日

東京2-21348  
日本指圧専門学校同窓会  
(同封の払込票をご利用ください)

一口 金一、〇〇〇円 何口でも可  
領収書 氏名、金額を会報に発表することによって替えていただきます

受付期間 年間を通じていつでも可 以上

### 会報 原稿募集中です。

の様に国会議事堂へ出掛けられましてそれはそれはなみなみならぬ努力をなされ毎日苦しい連続だったとのお話を伺った事を憶えて居ります。

昭和三十三年十二月に厚生省医務局医事課で「指圧の理論と実技」と言う教本が発行されました。その中に指圧法とは徒手で母指、手掌等を用いて体表の一定部位を押し、生体の変調を矯正し健康の維持増進をはかり、又は特定の疾病治癒に寄与する施術であるとのべてあります。指圧の定義が此の様に書かれ指圧が医療として価値のある事を厚生省は認めて居ります。世間でも指圧は大変身体に良く効くと言う事が、徐々に判って参りましたその時に浪越徳治郎先生が昭和四十二年、四十三年、四十四年にテレビの電波に乗り、先生のニコヤカナ笑顔、独特の名調子で手振り、身振りよろしく「指圧の心母心圧せば生命の泉湧く」をスロークロニカルにして全国津々浦々迄知れわ

### 実習生と共に



第十六期生 国田イト子

たりました。それと同時に世界各国迄波及し、外人の生徒が、指圧専門学校の門をくぐる様になりました。私達は現在その恩恵をこうむり、指圧治療に励む事が出来たのでございます。私達は諸先生方のご努力に感謝すると同時に今後益々指圧道にご尽力下さいます様お祈り申し上げます。

き、研究の毎日であった。どうか勤務にも慣れたが夢中で過した一年であった。或る日、母校の石垣先生より学生に実習させてほしいとの話があり、病院側にその旨伝へ、当時の内院長の寛大な心使いと英断によりご承諾を得て、昭和53年6月24日第一回の実習を開始し、浪越徹先生のご指導をうけた。

翌54年8月には老人ホームの実習も始っていたので夏季病院研修が催され、病院と老人ホーム合せて行われた。以来今年度卒業の28期生まで毎月一回、計97回、延千五百人をこえる患者さんに実習が出来、回数に既に百回をこえている。

この間、浪越校長先生、浪越徹先生、満都子先生、その他多くの先生方のご指導を頂き、毎月の学生引率は石垣先生が担当、一方飯能市で開業されている一期生の持木光子先生にも指導に加わっていただいた。

病院実習が始まって間もなく、「老人病院の指圧実習は得る事がない」とか様々な声が学生さんの中にあることを聞き、私は私共の努力が不足しているのではないかと、実習をより有意義に、しやすい様にと心掛けた積りで。

現在では病院の職員も指圧の恩恵を受け、患者さん方は毎月の実習の日を楽しみに待っている現状である。実習の翌日のリハビリ室は指圧の話に花が咲くことも度々である。実習生の方とたまたま故郷が同じであったとか、亡き親に指圧して嬉しかったとか、よい体験だったとか、患者さんのこのような声を聞くたびに私

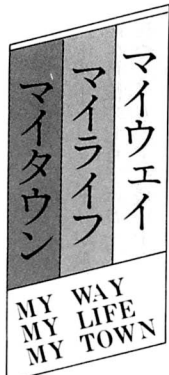
は病院勤務でよかった。実習生の方に来て頂いて本当によかったと感謝している。

病を癒させてもらうという考へ方、驕ることなく母心の指圧、真心を持って患者さんの心の指圧が出来たら最高だと思っている。

病院実習も九年目に入る。この間指圧の実習を待ちわび、そして嬉びながら亡った患者さんの数も可成りになる。その方達は天国で指圧に満足しているかもしれない。石垣先生の努力と持木先生のご厚意により今もって続いている。私共の微力が実習生に満足いただけない点多々あると思うが、今年も29期生の皆様、更に30期、31期の方々も私共と共に手を取り合って実習を重ねていただきたい。

高年令化する日本社会、その中で老人病の実際に触れ、実習を更に有意義にしていただき、又病院側としても患者さんの治療に役立て、私共の不足を補っていただければ幸である。

# 拜啓長崎市から



早いような遅いような、卒業してから丁度七年が過ぎましたが、隣県佐賀の嬉野温泉には一昨年、浪越校長先生が講演でお見えになられましたので、是非共おうかがいせねばと心待ちに致しておりましたが、運悪

く同日が私のテレビ出演日と重なり、全く残念の思いで失礼をいたしてしまいました。

余談乍ら、テレビ放送というのは当地方のKTNテレビにて、足かけ四年間に亘り毎週十五分間生放送で、(木村通宏の「健康指南」とつておき健康学」ワンポイント指圧」等の番組で、健康の知識と基本実技も織り交ぜ乍ら茶の間へ伝えましたが、とりわけ指圧講座は(モデルが良かったのでしょいか)大変に好視聴の人気を保ち、浪越式指圧医療の啓蒙と理解に、ほんの少しばかり御恩返し出来たような喜びも覚えました。然し一方で、ひっきりなしの電話相談や親しい視線を浴びる気苦勞には心身疲労のストレスが積み重なってゆくにつれ、日本全国・世界を対象に御活動の校長先生や微先生の広大無辺なご器量を知らされることを強く痛感いたします。

テレビが続くと並行して講演も断ることが出来ない事情も増えて来ますと、約束事をいつも肩に背負っている気が頭から離れず、重圧から逃れたい思いが、疲れている時などは、ついつい不満不快に陥りがちでなりません。医道を求むる心は強い反面、人助けとなり人から求められる果報を、つい苦に思うようでは



第二十一期生 木村通宏

此の道には不適當な資素かも、と反省することの多い今日この頃ではあります。

そして又、これは私のみならず指圧道を歩む人々にとって拭いのけたい最も大きな重圧の課題は、現代医学ばかりの優越・優偶・優先の社会実状と、指圧に対する過低評価・認識不足の実態とそれに伴う経営の困難さや、歯がゆさであるようにも思えます。地方に在って私などの日常は誠に微々細々の努力にすぎませんが、指圧治療の認識昂揚と発展に努めたいといつも念じております。石垣先生の医学史講義にも有りましたト由来の地であり、大学も永く名声を博す存在ですが、一昨年、県及び県歯科医師会主催に依る落成記念大講演会に於て、「心の健康」歯の健康「体の健康」の各テーマを、漫画家・富永一朗氏、九州大医学部教授・中田明先生と共に講演を一時間ずつ行いましたところ、公報も広くなされましたし、満員盛況を呼ぶことが出来ましたが、一介の指圧師が東洋医学の立場理論から話して大きな喝采を寄せられたことは、巷間の話題ともなり得たようでありませぬ。然し、ここに記しました行動の例は私の性格や人生観とはいささか正反対の方向のように思っておりますし、医学知識の吸収と指圧施術を最高の興味、趣味とわきまえて日々を地道に専念したいといつも念じて暮しております。

昨今の日々は、「指圧施術 日々是好日」の何一つ特記事項も変化もな

い生活こそ最良と考えて平凡そのものの毎日とご報告する以外にはありません。生来の体力に余り恵まれていとも思えませぬし、自分の健康を先ず修復して、この道を地道により長く続けて行きたいと思っております。

末筆乍ら、諸先生方のご健勝をお祈り申しております。 合掌

## 卒業教育について

指圧夏期大学に参加要請



第九期生 佐藤玄祥

今年も新らしく指圧師として日本指圧専門学校から巣立ってゆく後輩のみなさんに心からお喜びを申し上げます。

(新しい学問と技術)

近年各分野に於ける技術革新には、目をみはるものがあり、人の叡智の偉大さを見る思いがします。医学の面でも近代電子工学やバイオテクノロジーの進歩にともなって新しい治療法が確立されて参りました。私共の環境も刻々と変化して居ります。(指圧師の現状)

我々の先輩達は浪越指圧を基盤として、多くの患者さんから、様々なケースで治療法を肌で学び、その技術を伝えて来ております。指圧師の免状は有資格者としての最初の通行

切符であり、日に日に会得(えとく)した技術の積み重ねがあつてこそ、患者さんから頼られ、世間から信頼される治療師として評価されるので

(夏期大学と講習会)

学校卒業後幾星霜を経過した同窓生にとつて、常に新しい学問と技術が必要で。つまり卒業教育の充実が要望されるわけです。そのため日本指圧協会では毎年著名な学者、有能な先輩諸先生を招いて、夏期大学を開催して来ました。特に昨年度からテーマを決めて分科会を開き質疑応答を活発にする機会を持ち大変好評を博しております。又東京に於ては毎年東京都の委託講習会を主催し、新しい知識と情報、技術の向上を勉強して来ております。

(卒業教育と範師会)

卒業教育として自ら学ぶ機会に積極的に参加し自らの研鑽を重ねて指圧師としての職能を高められるよう声を大にして訴える次第です。特に指圧夏期大学の参加回数によって技術と論文の審査で、日本指圧協会会長浪越徳治郎先生より師範、範士、練士等の各称号が与えられます。又範士以上の有資格者は範師会に加入することで更に自己を錬磨することによって人格と技術の高揚をはかつて先輩諸兄姉は日夜努力を重ねております。

同窓生のみなさん! 卒業教育の重要性を充分ご認識の上、多くの方に夏期大学等に積極的にご参加下さるようお願いいたします。(日本指圧協会夏期大学担当理事)



# 同期会便り

## ◆第十一期

(六九鳥会)

偶然の一致だろうか一九六九四年の昭和四十四年三月ムクドリが飛び立ってから四ヶ月後の七月アポロ十一号が人類史上初めて三人の宇宙飛行士を乗せて月へ飛び立った。これは何よりチームワークの成果だと思ふ。我々もチームワークがよい。昨年十二月の会はきざわしい時期であったが三十名程出席し甲佐さん宅で彼女の作った料理を高野、久保田、相馬さんが早くから出てきて盛り合わせを手伝う。愛知から岡田さんも見え手料理を皆で食べた。しゃべったり唄ったりそれをビデオや写真にも収める。又ささやかながら賞品を用意し坊主めくり大会に興じた。賞品名簿にはお互いの血液型を記入し緊急時に備えてある。病氣や困っている仲間がいたら会いに行くか、もし会いに行けなかったら電話や手紙等何等かの方法で激励して力つけてあげようと多くの人達が望んでいる。十一期生はそんなクラスである。 岡元 満 記

## ◆第十四期

(十指会便り)

卒業す片恋少女鮮烈に。誰れかの句で。三月ともなれば歳時記ではないが、ふと思ひ出す卒業の季語、私には最後の日指校のその感動と思ひ出はさきわ大きく、又深いものでクラスメートの一人一人の顔が浮んでくる懐しい季節でもあります。 会友の皆様お変わりなくとは申せ、十五

年の歳月その早さと平和の中にも、それぞれ種々とお変わりもあろうかと存じます。そこで、十五周年を記念して一別以来の気楽な、喜楽な旅を催して一つの節目と、新しい思い出をつくりたいものと思ひます。就いては会員の発想自由な形(温泉、山歩き、いも煮会、研究会等)推薦場所、月日等々のアンケートをお願い致します。其の結果を得た上で実行致したいと思ひますので、是非共一葉を奮発して下さい。まして御協力をお願い致しますと存じます。尚ご感想、ご意見頂ければ更に感激感謝です。 窓口は、溝口、伊原宛にお願い致します。 伊原芳雄 記

## ◆第十七期会

一昨年安房鴨川のグラントホテルで第四回同期会が開催され、昨春秋に五回目より休会となりました。十一月の校長先生兼寿の会には同期生十数名が参加して旧交を温めました。今年の役員会が四月二十七日に予定されていますので、その会で検討されると思ひます。ご提案をそれまでに役員の方にお寄せ下さい。 計報 B組同期役員でお世話になりました。大浦敏吉先生が、昨年九月逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。 弔問者 小林秋朝、上野欣二、中尾努、伊藤千三、丸井盛雄、上原忠、戸米宮子、広村いと

前号で報告もされた会運営費としての同期会協賛金賛助金者 60・4・15  
61・2・28日  
ご芳名(敬称略) 報告  
特別賛助金者 佐々昭三(三千)  
賛助金者 河合菊市(三〇〇) 以上  
協賛金 一口千円、何口でも可随時受付、振込銀行名、第一勧業銀行御徒町支店、口座名、日本指圧専門学校第十七期会、小林秋朝、口座番号、09111239752 広村いと 記

## ◆第十九期C組

(第二回クラス会)

昭和五十二年三月に卒業、昭和五十四年五月に第一回クラス会を開催し、好評でありましたので、続いて開催する予定でありましたが、雑事に追われ大巾に遅れましたが、昭和六十年十一月十日(日)に第二回クラス会の開催を計画しました。卒業時に七十三名いました同志のうち、石井美津子さんが逝去され、インドネシアから在学していた巖民清さん、米国へ移住した横島実さんを除いて、案内状を七十通発送しました。処、約半数が居所不明として返送されてきました。世話役の連絡不十分でありましたか、さびしい限りでした。

なお、当日都合悪く参加出来なかった方も若干はいましたが、遠く青森市から福田典孝さん、静岡県袋井市から、二才の長男を帯同して平野順子さん、二年の進学時にA組に転組されていた山岡祥宏さんなど、十八名が参加されました。 なお、在学中クラス担任として、吾々の公私共に、良き先輩として、ご指導賜りました上野欣二先生と、ユーマアを混えて解りやすく、ご指導下さいました解剖担当の後藤保正先生のご参加を、いただきました。

当日は、東上線大山駅前中華料理店「孔雀苑」にて午後三時から司会を齊藤鶴男として青木宏さんの世話役挨拶を初め、来賓上野欣二先生と後藤保正先生の祝辞をいただき、新藤忠三郎さんの乾杯音頭を行いました。

飲食を行いながら、参加者全員の自己近況報告を発表していただきました。特に、治療方法について、新規心療手当法など、約十年間の尊い体験談を次々と、うかがい、立派に成長されていることに、驚き入りました。 益々指圧道発展のため、ご健斗を祈り



日本指圧専門学校19C クラス会記念 於孔雀苑

たい気持です。

全員の報告が終了後、別掲の記念写真を撮り、暫らく振りの催しで、話題が尽きなかったようでしたが、山岡祥司さんの閉会挨拶で終了し、再び第三回クラス会に元気で参加出来ることを、祈って午後六時に散会しました。 今回の世話役は、青木宏、青木哲夫、船津昌亮、齊藤鶴男でした。 齊藤鶴男 記

## ◆第二十期会

第二十期の皆さんお元気ですか。今年日本指圧学校に入学してから十年になります。この意義ある年に、第二回同期会を開催してはと考えて、昨年六月二十三日に運営委員会、十月六日に実行委員会を開いて、次のように決定しました。

実行委員会において、各クラスの委員からクラスの現状報告があったが、卒業以来クラス会を開いたことがなく、クラスの実情がよくつかめていないクラスもあり、この現状では、昭和六十一年中に

同窓会を開くことは、諸種の事情で難しいということになりました。

そこで協議の結果、先ず各クラスで六十一一年中にクラス会を開き、同窓会開催への気運を盛り上げ、その上でクラス相互の意志疎通をはかり、卒業十周年にあたる昭和六十三年に、同窓会を開くことを目標に、進めて行こうということになりました。

今後、各クラスにおいて、クラス会などが行われることと思ひますが皆さんには積極的に参加されて、よりよい同窓会が出来ますように御協力をお願いいたします。

又御希望、御意見がありましたら幹事又はクラス委員まで御連絡下さい。

- 常任幹事 A組 伊藤 節子
- B組 浅野良太郎
- C組 舟島 正八
- D組 伊大知 武
- 舟島 正八 記

## ◆第二十四期A組

(綿絵会「再会」)

二十四期A組のクラス会が、昨年七月六日、七日に、在学中研修で思い出の多い飯能の由緒ある旅館「雨だれ荘」で総勢二十五名が参加して行なわれた。

樹々の間を縫って澄み切った清流の流れる名栗溪谷を一望に見渡せるロビーでお互に再会を喜び合い、懐かしみ合い、先に稗田、中林と二人の同志を失っただけに健康である尊さを確かめあった。 大広間では、かねてお願いしてあった講師の「節税」の話や「治療体験談」等延々数時間の発表があり、大変参考になった。

その後は二人一組の相互指圧で肩の力をほぐしあった。 覆い被さるように突き出た洒落た岩風呂の湯加減も結構だし、湯の量も豊富な中にタップリと漬かり、気心の知れた者同志が背中を流しあい、タテマエでなく、本音の話して体がふやけてしまった。

夜の宴会では、当館自慢のジンスカシ鍋を味わいながら屈託なく酒を酌み交わして、気分は上上、乗りに乗って、いやはや賑やかなこと、カラオケは勿論、ダンスパーティと相成り申した。

一部の日帰り参加者が席を立つてから、五つの部屋に別れたものの、車座になって大声で話したり、笑ったり、九州、長野、石川やらの郷土特産品が並べられ、酒の摘みで宴会場の延長。気持良さそうに指圧を受けている者も居た。

翌日は「山菜と薬草の研究と採取」の予定だったが土砂降りの雨の為に中止となった。そのお蔭で九時から正午迄の時間を特別に大広間を提供して貰って、旅館の女将さん、仲居さん、下足のオジさんに至るまで指圧のサービスしてあげたり、お互同志の指圧をやったり、一人で何人も人の指圧をしてもらって、体は壮快になるわ、同僚の技術も会得出来るわ、指圧代はいらさないわで、大変結構なクラス会であった。

あれ程降っていた雨も昼近くにはすっかり上り、私達はスッキリした気分での年の再会を約束し思い出多い飯能を後に夫々の家路について行った。

竹内 淑元 記

◆第二十四期B組

(「茜会」この一年ノ)

昨年の十一月三日には、浪越校長先生の傘寿のお祝いと、指圧道六十年と、学校創立四十五年と三重の祝賀会があり、私は出席致しました。この時、会場の出席者全員が感じた事と思いますが、校長先生の若々しさは、青春まつ盛りと云う言葉がぴったりでした。

「元気で長生き出来るのは指圧のおかげだよ」といつもおっしゃっております。世界に名を誇る校長先生の教え子の一入として、私達茜会でも、誠心誠意、真心のこもった指圧治療をし、お客様に喜

ばれ、自分自身も元気に頑張って生きようと思っております。

我が茜会の運営も大変順調に歯車が廻っておりまして、クラス会も今年で五回目になり昨年の十月には山梨県石和町にて開催致しました。

この夜は「五十肩」について検討し合っている幹事の野末氏より、親切丁寧に実技を中心に講義があり、出席者からは、真陰に質問がとび交い、時間の立つのも忘れて、午前二時ごろ迄、諸々の勉強会が続き、楽しい一夜を送る事が出来ました。

一夜明けて、次の朝は記念撮影を最後に、忙しい人はお別れをして、車三台に分乗して宝石工場を見学したり、秋の昇仙峡を心行く迄ドライブし、冷たい空気を胸一杯吸い、一年間のストレスもここに解消し、午後三時過ぎ、甲府駅から揃って東京に向かいました。

名残りつきないこのクラス会も回を重ねる毎に充実したものととなり、内容も豊かになって参りました。

出席しそびれている方々も、どうぞ次回からは、積極的にご参加されますよう、心からお待ちしております。なつかしいクラスメートのお元氣なお姿に接する事は至上の喜びです。

今年のクラス会は次の通りでほぼ決定です。

記

◎日時 六十一年十月十九日と二十日です。

◎場所 長野県松本市又は諏訪市の予定。

◎幹事 井上氏 森下氏 宇都宮氏と決定。茜会の皆様、お元氣で秋の再会を楽しみに致しましょう。

追伸 昨年九月クラスの長老松本正義さんと、今年二月八日横田恒一さんがお亡くなりになりました。皆なご冥福をお祈りいたします。

馬場今朝美 記

会報・原稿募集中

◆第二十五期B組

(三年目の新年会)

二十五期B組の新年会は二月二日午後二時より秋葉原の「肉の万世」で開催した。



25期B組クラス会、担任 小出忠志、木下誠先生を囲んで

担任の小出先生と木下先生を迎え、各人の自己紹介をかねて新年の抱負ならびに治療法や、開業上の問題点について意見を述べ、特にこれから指圧を業として取組んで行く私たちに、小出先生より体験上腰痛の診察と治療ポイント等力づよいご指導を数十分にかけて教授いただき来年の再会を約して五時近くに解散した。(写真・小出先生中座中)

なお、これを機会に六月の中旬頃・泊二日にて指圧研究会を開催する予定であります。

志田勝也 記

という事で今回のクラス会には二十数名の参加者がありました。又、出席できなかった方々からは、近況を伝える手紙が二十通程届きましたので、当日、皆様に回覧いたしました。それぞれに懐かしき、励みになり、旧来に増して新たな友情の交流の場になりました。

が決まりましたのでお知らせいたします。日時 六月十五日(日)と六月十六日(月) 場所 伊豆韮山天城荘です。出欠は早目に御願いたします。次回、再会できることを楽しみにしております。 佐藤元彦 記

◆第二十五期C組

(クラス会便り)

毎年恒例の二十五期C組クラス会が、去る六十年十月十三日第二日曜日、日本タバコ産業KKすみだ寮二階大広間で開催されました。今回はお世話になった担任の小林秋朝先生多忙のため、残念ながら不在のまま始まりました。金橋先生の開会の挨拶の後、次期クラス会幹事が指名され中沢が手伝いさせていただきます。さとお互いに助け合い、はげまし合って卒業し国家試験を受けて、早三年「光陰矢の如し」、あつと云う間に過ぎてしまいました。今回出席された先生方一人づつ近況報告していただきました。また残念ながら出席出来なかった先生と、電話にて、お話しした事を、受けた先生より報告していただきましたが、ある先生は、指圧開業に目標をもって、今までの仕事に、又治療院に勤めさらに腕を磨き、それぞれは開業して順調に営業され、それぞれ



25期C組クラス会

◆第二十五期D組

(若草会便り)

- 一、六十年八月に「若草会便り」第一号を発行配布致しました。今年も引き続き発行したいと思えます。
- 二、次回発行は本年八月頃と予定して居りますので会員の近況、其の後修得された指圧技術治療法又は指圧治療上の経験談、成功例等或いは治療上現在苦勞苦心している事項等を本年七月頃まで若草会事務局(小川)宛御連絡下さい。
- 三、西岡大介君、六十年末まで長野県下で治療所を開業して居りましたが、郷里に帰り、六十一年初めより、治療所を開設しました。
- 四、愛媛県宇和島市伊吹町二十一西岡指圧治療院
- 田沢元泰君(田伊藤五十八年夏頃より全面的に仏門に復帰致し、昨年十一月一日より、本年二月十一日まで一〇〇ヶ日千葉県市川市中山の大本山法華経寺内の日蓮宗大修行堂で修行を行って居ります。修行成った後田沢師の法話、修行体験談を拝聴する機会を作りたいと思っております。葛西定吉君、山下輝司君の現住所を御存じの方は御連絡下さい。

小川清 記

# 「WINDS」に指圧紹介 隠れたベストセラー誌

国際線 26万部  
国内線 15万部  
41万部

日本航空の国際線機内誌、「WINDS」26万部発行、3月号に、浪越徳治郎、徹岡先生の写真と共に、英語版五ページに亘って指圧が紹介され、一時に、世界中を雄飛して、各国で紹介されました。反響は大きく、連日、学校へ、照会の電話がかかってきています。

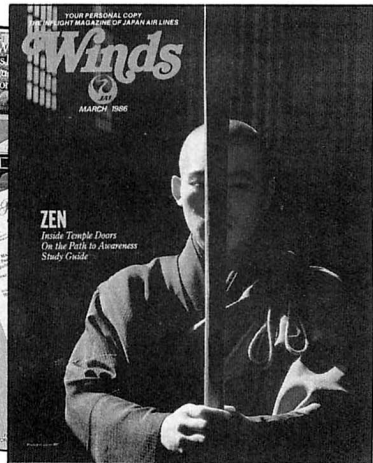
今年も大活躍、徳治郎先生、徹先生



## Thumbs up for Shiatsu!

**Question:** What can relieve headaches, cure insomnia, prevent or counteract baldness, dizziness, arteriosclerosis, climacteric upsets, motion sickness, asthma, stomach and liver complaints, menstrual pain, high blood pressure, constipation, obesity, diabetes and general fatigue, and is also good for the sex drive, vitality and overall appearance?

**A** Shiatsu is an ancient Chinese...  
By Gary Steven Corseri  
Photographs by Robert Wallis



## 新刊紹介と ビデオ「ファミリー健康指圧」

「子供が喜ぶスキンシップ指圧」浪越徹著 八八〇円、最近、特に子供の筋肉ががたく、こわばっている傾向にあるので、子供のときから体をほぐして健康な体力と心をつくる目的から、子供のスキンシップをかねて簡単に日常できる指圧を、ぜひお母さん達に覚えてもらいたいと著者の願いから生まれたのがこの本で、主婦の友社から3月25日より発売される。内容は、赤ちゃん、児童、学童と三つに分けて、グラビア写真とイラストで、誰でもわかりやすくまとめている。浪越徹先生、最新の力作、書き下ろして今からベストセラーとして期待されている。

◎昨年二月「指圧+ストレッチング」日貿出版社(一、五〇〇円)から、英語版、同時発売で話題を呼んだが、続いて、9月「健脳ツボ」八八〇円、主婦と生活社から発売され好評裡に発売されている。続いて今年一月にはビデオ版、だれでもできる「ファミリー健康指圧」このビデオは、症状別指圧、応急自己指圧とで構成されている。パワーズ社並にサンビデオ社から一巻一万五千円、卒業生には二割引の一万二千円、申込先は母校へ。

## 編集後記

浪越徳治郎先生、傘寿の会の模様は限られた紙面では、到底再現できませんが、記事(指の光・堀先生)と写真(樽沼先生)でご想像をお願いいたします。■副校長徹先生には、創刊号以来、毎号ご研究の賜ものであります、指圧法を寄稿戴きまして感謝している次第です。今号も貴重な寄稿を戴きました。紙面の都合で次号へ、また昨年の同窓会記念講演「ストレッチング」も割愛させていただきました。■「YOKOGAWA」は吉田克廣先生が、ご登場の予定でしたが、急病のためまたの機会にさせていただきます。ご快癒を同窓生と共に祈りいたします。■同窓会総会案内は、3ページをご覧ください。記念講演予定の後藤保正先生はじめ、諸先生、同窓集いで、旧交を温め、意義ある一日でありますように。■新鋭二十八期生が、切磋琢磨した、母校を巣立っていった。椿山荘での式は、浪越先生、諸先生、在校生、全員に送られて、前途勇躍、指圧の道に、力強い一歩をふみ出しました。■今年も卒業パーティーは、華やかで愉しく、寸劇あり、華麗な舞踊や、天井を揺るがす、大合唱、先生からのプレゼント抽選の歓声。二次会、三次会へと、へまた逢う日まで あえる時まで

会報編集委員長 小林秋朝